

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール東戸塚第2教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が階段のみしかない、ビルの3階にあるため、ご不便をおかけしております。教室内は段差等もなく、通行スペースを確保させていただいています。	ご利用者様に危険が及ばないように、下駄箱等での注意喚起も行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の日誌にて情報共有しており、口頭でも当日の確認事項等を共有しています。	今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年年度末に行われますこのアンケート調査にて保護者様のニーズを把握し、業務改善に繋げています。	ニーズに沿った支援をさせていただきよう、今後も継続していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年に引き続き、オレンジスクール東戸塚第2教室のHPにて公開予定です。	今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は実施していません。	必要に応じて、今後検討していきます。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修・社内研修を適宜実施しています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			適宜面談を実施、アセスメント更新をしています。また職員間で会議をおこない、様々な観点からの意見を集め、モニタリング・個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所の職員全体で行っており、日々の活動記録等をもとに活動プログラムを検討しています。	今後も継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			日々の活動記録を共有し、ご利用者様のご状況により活動プログラムを変更しています。	今後も活動プログラムが固定化されないよう随時検討していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々の活動状況を把握し、個別支援計画をもとに課題を設定しています。	今後も継続していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の活動状況を把握し、個別支援計画をもとに課題を設定しています。	今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用時間開始前に当日の注意事項等の確認、情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後に情報共有をしています。	当日不在で参加できなかった職員にも周知できるよう、日誌等に共有思考を記載し、次回出勤時に必ず情報共有を行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の活動記録を作成しています。その記録をもとに次回以降の活動内容を検討しています。記録を書く際の視点等についての共通認識を持ち、充実した記録内容になるよう留意しています。	今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回を目安にモニタリングを行い、個別支援計画の再作成をしています。	今後も継続していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドラインを前提とした個別支援計画を作成しています。個別支援計画内容に沿って活動内容を決定しています。	今後も継続していきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、支援を担当する職員が参画し、会議を開催しています。	今後も継続していきます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	保護者様・ご利用者様を通じて、情報共有をおこなっております。	必要に応じて学校との連携をしていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療職スタッフを配置していないため、利用の際は主治医・保護者様とご相談させていただきます。	今後も継続していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所等と情報共有をし、切れ目のない支援ができるよう取り組んでいます。	今後も継続していきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当のご利用者様がいらっしゃいません。	ご利用者様の状況、ご家庭のご要望に応じて、連携を検討していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や見学会に参加し、日々の支援につなげています。	今後も継続していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	開所時間の都合上、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。	今後必要に応じて検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加し、他事業所との意見交換を行っています。	今後も積極的に参加していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		その日の活動報告をさせていただいています。また保護者様からのご相談も適宜電話・メール・LINE等をご活用いただいています。	今後も継続していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	面談の際に、お困りごと等に対して共有いただいています。	今後必要に応じて、検討していきたいと思っています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にご説明しており、教室内に掲示しています。ご質問に対しては随時回答させていただきます。	今後も継続していきます。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談の際に、お困りごと等に対してお話をさせていただいております。	今後も継続していきます。また今後方法等を検討したいと思います。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は実施していません。	今後必要に応じて、検討していきたいと思っています。

保護者への説明責任等	⑮	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情をいただいた際は、社内のフローに従って迅速かつ適切に対応しています。またいただいた苦情は記録を残し、再発防止に努めています。	今後も継続していきます。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログ・毎月のお便りに活動の様子を報告しています。	今後も継続していきます。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報につきましては、鍵付き棚で保管しています。また教室内の全PCにはパスワードを設定、ウイルスバスターを完備し、使用しています。	今後も継続していきます。
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お伝えする情報はメール・LINEやお便りなど文書化を心掛けています。ご利用者様へは特性に合わせた情報伝達手段を使用するよう心掛けています。	今後も継続していきます。
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか			○	オレンジスクール東戸塚第2教室では実施できていません。	今後必要に応じて、検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内でそれぞれのマニュアルを策定し、職員間で共有しています。保護者様にもご周知いただけるよう教室内に掲示をしています。	今後も継続していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			春と冬の長期休暇中に避難訓練を実施しています。また訓練月にはお便りにてお知らせを行い、終了後はブログで報告させていただいています。	今後も継続していきます。
	㉒	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内で研修を行っています。	今後も継続していきます。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			安全にご利用いただけるよう、事業所内で対応を決定しています。また、契約時に「身体拘束に関する同意書」をもとにご説明させていただき、やむ終えず身体拘束を行わせていただく際のためにご署名をいただいています。	今後も継続していきます。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事・おやつ提供はありません。またアセスメント時にアレルギーの確認をさせていただいています。	今後も継続していきます。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日作成している日誌にヒヤリハットの覧を作成し、職員全体で共有しています。そして同様の事象が発生しないよう対応しています。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール東戸塚第2教室
保護者数（児童数）：44（44） 回収数：28 割合：67%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	6			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	4			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	9	4		
適切な 支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	28				
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	21	7			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 3	8	不必要 17	・現時点においては不要。	
保護者 への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	2			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 3	10	不必要 15		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	5			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	3			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	26	1	1		
非常時 等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25	2	1	・マニュアルは保護者に配布されていない。	・入会時にマニュアルのご説明・配布をさせていただきます。年度初め等に再度お便り等にてお知らせさせていただきますと思います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	2	1	・いつ避難訓練を行っているかわからない。	・3月と8月、年2回実施しております。お便りやHPでお知らせ、報告をいたします。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	3		・時間指定のため。 ・勉強したくないと拒否するときもある。 ・自宅・学校・その他の第3の場所として、子ども本人の中でとても大切な場所となっています。	・ご利用時間でご不便おかけし大変申し訳ございません。今後も情勢に応じて安全な教室運営を行って参ります。ご理解・ご協力のほどよろしく願います。 ・第3の場所としての認識をしていただき、大変光栄です。今後にご利用者様にとって大切な場所としてご提供ができるようにしていきたいと思っています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	26	1	1	・いつもありがとうございます。 ・講師の方々とお話したり、いつでも相談できるという状況のおかげで、親もとても救われています。いつも本当にありがとうございます。	・こちらこそ、いつもご利用いただきありがとうございます。今後ご利用者様が気軽に相談できる環境を整え、支援をさせていただきますと思います。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

- ・共有部分に階段のみしかないので、バリアフリー化されていない。
- ・活動スペースを分け、通路の確保をしている。

B 児童への支援内容

- ・日々の活動記録を共有し、ご利用者様のご状況により活動プログラムを変更している。

C 関係機関との連携

- ・戸塚区地域自立支援協議会への参加をし、関係機関との連携をとっている。
- ・発達障害等の知識を研鑽するために社外研修に参加している。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ご利用後、その日の活動報告をしている。また保護者様からのご相談も適宜電話・メール・LINE 等をご活用いただいている。

E 非常対応

- ・入会時にマニュアルのご説明・配布をしている。また入会時に長期休暇(春・夏)に避難訓練を実施していることをお伝えしている。

保護者による評価

A 環境面

- ・バリアフリー化の配慮がされているか否かについてどちらともいえない等の意見が4割あった。

B 児童への支援内容

- ・活動プログラムが固定化されているように感じる。

C 事業所からの情報発信

- ・ホームページやお便りについて存在を知らない。

D 非常対応

- ・マニュアルは保護者に配布されていない。
- ・いつ避難訓練を行っているかわからない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・教室が3階にあり、階段のみしかないので、バリアフリーとは言い難い。
- ・事業所内での限られたスペースでの活動となるため、利用者の支援が一部固定化している。

【相違点】

- ・教室内は段差がなく、活動スペースを分け、通路の確保をしている。
- ・事業所での活動を楽しみにしているという意見が9割ある。
- ・お便り・HUG 等で教室の様子やその日の活動報告している状況だが、「どちらともいえない」の評価を一定数いただいた。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・事業所での活動を楽しみと感じてくださっている方が多数を占めている。
- ・教室には段差はなくバリアフリー化できている。また活動スペースを分け、通路の確保等をおこなっている。
- ・ご支援内容については日々の活動記録から職員間で共有・検討をし、活動内容が一定にならないように努めている。
- ・お便り・HUG等を使用して、日々の活動記録を保護者に共有をさせていただいている。またLINEやメール等を活用し、事業所とのやり取りを迅速に行える体制が整っている。

事業所の改善点

- ・教室内・外のスペースの確保について検討をしていく。
- ・活動内容に変化を感じていただけるように日々職員間の情報共有を細目におこない、季節に応じた療育活動等を提案し、固定化されないようにプログラム構成をしていく。
- ・お便り・HUGを通して、教室の情報・利用者の情報を日頃から見ていただくことができるようにお知らせをしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・教室内・外等、利用者の状況を踏まえ、座席の配置を検討し、スペースの確保をしていく。
- ・季節に応じた療育活動等を取り入れ、支援内容が固定化されない工夫を実施していく。
- ・お便り・HUG以外のツールを活用して、ご家庭が気軽に相談等しやすい雰囲気作りをめぐる。職員からも積極的にコミュニケーションを図るよう周知していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年もアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。そして今年度も感染予防対策のために様々なことにご協力いただき、誠に感謝申し上げます。来年度も感染予防対策に努め、ご利用者様が安心して通っていただける場所、サービス提供ができるようにしていきたいと思っております。

また職員間でご利用者様の状況等、支援内容を日々確認しながら、情報共有をおこない、改善・検討を実施し、よりよい支援をおこなうことができるように努めてまいります。

事業所名 オレンジスクール 東戸塚第2教室

担当者 高濱 慧理奈